

共同礼拝

2024年12月29日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 市橋佳子

前 奏

招 詞 イザヤ書 65章17, 18節

頌 栄 546

主の祈り

聖 書

詩 編 98編1～3節 (旧935)

使徒言行録 11章19～30節(新235)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 II編1

説 教 「キリスト者と呼ばれる」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 411

献 金

頌 栄 543

祝 禱

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

12月の祈り

アドベント・クリスマスを迎え、神のひとり子、真の神が真の人となられた救いの出来事を思い起こし、その恵みの光に導かれてこの時を歩むことができるように。

御言葉を光とし、礼拝を守り、心静めて祈りの時を持つことができるように。

高齢、体調などにより願いながら礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

クリスマスに向けての諸予定と備えが導かれ整えられるように。

戦争と紛争の地に平和がもたらされるように。

今日の祈り

クリスマスの恵みと祝福を受けて、新たな歩みに踏み出すことができるように。

一年を振り返り、主が伴ってくださったことを見出し、恵みを覚え数えることができるように。

戦火が止み平和がもたらされるように。悲しみと痛みが和らげられるように。

病を負う人たちに回復が与えられるように。

「キリスト者と呼ばれる」 姜 徑米

使徒言行録 11章19～30節

使徒言行録11章19節以下には、アンティオキアという町に教会が誕生したことが語られています。このことは、教会の歴史において、大きな転機となった出来事でした。三つのことをあげることができます。第一に、このアンティオキア教会は、ユダヤ人でない、異邦人を主なメンバーとして成立した最初の教会であるということです。

第二は、このアンティオキア教会が、パウロの伝

道旅行の根拠地となったということです。初代キリスト教会の大伝道者パウロは、本日の所ではまだ「サウル」と呼ばれていますが、彼は三度にわたって伝道旅行を行ない、各地に教会を築きました。

パウロを伝道旅行に送り出したのはこのアンティオキア教会だったのです。アンティオキア教会は、パウロの伝道によって、アジアからヨーロッパまで多くの教会を生み出す母体となったのです。

第三のことは、このアンティオキアにおいて、キリストを信じる者たちが初めて、「キリスト者」と呼ばれるようになったということです。英語で言えば「クリスチャン」という言葉です。キリスト信者をそう呼ぶことがこのアンティオキアで始まったのです。

これはアンティオキアの人々が、教会に連なる信者たちのことを呼んだあだ名です。何故そのように呼ばれたのでしょうか。それは彼らが機会あるごとに、イエス・キリストのことを語ったからでした。あまりキリスト、キリストと言うので、「口を開けばキリストと言う連中」という意味で、「キリスト者だ」と呼ばれるようになったのです。

ここに、アンティオキア教会の人々の力強い伝道の姿が伺えます。

彼らの伝道は単純でした。「主イエス・キリスト」を宣べ伝えたのです。彼らはそのように呼ばれることを、喜びをもって受け止めました。「そうだ、私はキリスト男だ、キリスト女だ。この私のために主イエス・キリストが十字架にかかって死んで下さり、復活して新しい命を与えて下さった。私はこのキリストを信じ、その救いの恵みにあずかりつつ生きている」。そのようにして、信者たちも自らを「キリスト者」と呼ぶようになったのです。